

2026年
3月14日
第506号



JR東海労



〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

JR東海労働組合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/



春闘勝利！ 団結して闘うぞ！ JRひがし労と春闘総決起集会を合同開催

3月3日、JR東海労・JRひがし労合同「2026春闘勝利！総決起集会」を開催しました。集会には、回転寿司ユニオンの仲間も参加し、春闘を共に闘うことを意思統一しました。冒頭、JRひがし労時田青年部長の音頭で、力強いシュプレヒコールを行いました。

主催者を代表して、淵上委員長は「アメリカ・イスラエルによるイランへの軍事攻撃で、現時点で568人の市民と戦争に駆り出された兵士が亡くなった。直ちに、戦闘は止めるべきだ。平和であるからこそ、春闘を闘える。産業報国会には労働組合は存在しない。連合は、賃金の格差要求をしているが、これは労働者の分断でしかない。企業は人材確保やインフレを対策とした生き残りのための賃上げであるが、私たちはこれに抗して、労働者の連帯で闘う」と挨拶しました。

春闘勝利！満額獲得！ 組織拡大を勝ち取ろう 各地本定期委員会成功裡に終了

新幹線地本は2月22日、都内で第31回定期地本委員会を開催しました。伊藤委員長は、挨拶で「春闘は賃上げ要求2万円を掲げて闘う。春闘総決起集会をJRひがし労と共に開催する。診断書強要行政訴訟判決で会社の団交開催拒否は不当労働

新幹線地本第31回定期委員会

各地本は2月、定期地本委員会を開催しました。春闘をはじめ、JR東海労の組織展望を切り拓くための実践などを中心とした議論を展開しました。

新幹線地本は2月22日、都内で第31回定期地本委員会を開催しました。伊藤委員長は、挨拶で「春闘は賃上げ要求2万円を掲げて闘う。春闘総決起集会をJRひがし労と共に開催する。診断書強要行政訴訟判決で会社の団交開催拒否は不当労働



報告されました。報告を受けて、参加者からの決意表明を行いました。まとめで、JRひがし労茂木副委員長は「企業内労働組合の春闘は終焉した。職場に立脚した闘いを展開する。我々には、同じ目的に向かって闘う仲間がいる。自分が労働者であることを自覚しよう」と訴え、集会は成功裡に終了しました。

2026春闘 団交始まる

2026春闘が始まりました。JR東海労は、ベア2万円、定期昇給1,500円乗数4、夏季手当3.8ヶ月を中心とした要求を提出し、満額回答を目指します。交渉経過などは、次号で掲載します。

来賓では、本部齊藤副委員長、田中地本OB会長が挨拶しました。質疑では「業績考課P1評価について出向先会社から評価を求められたが、そんなことはできないと蹴った。こういうのは止めてほしい」と言っていた。「団交の結果、職場にエアコンが設置され、意見交換会が定期的に行われるようになった」「出向先でパワハラされ、強く抗議した結果、謝罪があった」「戦争をする国に進みつつあることへの否定感が希薄になってい



る。徴兵制が見えないで票をいれている。あらゆることを訴えていく必要がある」などの発言が出されました。土川書記長は、総括答弁で「徴兵制が現実化するのを訴えていこう。セン労は経協をともに開催していない。組合員・OBに話をしよう。出向や再就職した仲間も職場改善でがんばっている。平成採組組合員一人にさせない。他労組より仲間を組織拡大した。自信を持って、本体・関連・地域や家族に働きかけていこう」と訴えました。

静岡地本第35回定期委員会

静岡地本は2月24日、静岡市内で第35回定期地本委員会を開催しました。

半場委員長は、挨拶で「春闘では、ベア2万円、夏季手当3・8ヶ月など53項目の要求を出した。勝利に向けて闘う。衆議院選挙で自民党が圧勝した。高市政権が進める憲法改悪を阻止する闘いを展開する。冤罪を許さない闘いで、天童林業高校事件を支援する人たちと連帯する。リニア訴訟を共に闘う。JR東海労連、JRひがし労、回転寿司ユニオンの仲間と共に、組織拡大を目指し闘おう」と訴えました。

水がなくなるとお茶の生産ができなくなる。中止すべき」「憲法改悪で自衛隊が明記されると、徴兵制になると危惧している」「運転士が連結の無線誘導を行うが、説明のみではなく訓練でやるべき」などの発言が出されました。

名古屋地本第36回定期委員会

名古屋地本は2月22日、名古屋市内で第36回定期地本委員会を開催しました。議長に吉田委員を選出しました。

山本書記長は、総括答弁で「9条連との連携を強化し、反戦平和の闘いを強化する。ペルー労働者との交流を更に進めよう。リニア工事による残土の重金属除去に、1㎡当たり3・5万円かかる」とされ、とてつもない費用がかかる。建設反対の闘いを強化する。『冤罪を許さない市民の会』と連帯し、法制審による再審査改悪を許さない。名古屋地本よりドローン兵器輸入を許さないハガキ行動を取り組もう」と訴えました。

029年解散となると若手組合員はどうなるのか」「関連会社にJR東海の管理者が出向に来て、細かいことを言うので、会社を辞めたい社員が多数いると聞いた」「高市首相は先の大戦を侵略とは認めていない。歴史を改ざんしている。私たちは騙されない。反戦平和の戦線を拡大しよう」などの発言が出されました。

御辺書記長は、総括答弁で「JR総連と決別して1年、JR東海労らしい闘いをする。医療法人を強化する。ペルー労働者との交流を更に進めよう。リニア工事による残土の重金属除去に、1㎡当たり3・5万円かかる」とされ、とてつもない費用がかかる。建設反対の闘いを強化する。『冤罪を許さない市民の会』と連帯し、法制審による再審査改悪を許さない。名古屋地本よりドローン兵器輸入を許さないハガキ行動を取り組もう」と訴えました。

新幹線関西地本第31回定期委員会

新幹線関西地本は2月22日、大阪市内で第31回定期地本委員会を開催しました。

笹田委員長は、挨拶で「私たちは、御用組合のサービック労組を脱退し、JS労の組合員であることを公表した姥さんの勇気と決意を歓迎する。これからもJS労、JE労、OB会の皆さんと固く連帯し、JR東海労連の運動の広がり組織拡大の実現のために共に闘う。衆議院選挙は、自民党が全体465議席の3分の2を上回る316議席を獲得した。このまま『早苗フィーバー』で流れて行けば、憲法改正への国民投票が現実のものとなる。平和の危機に直面している。憲法改悪反対、戦争反対について

に賃上げの団交を求めたが、『査定がある』として団交を先延ばししている。早期に団交開催を求める。JS労に引き続きJE労が結成され、運動が広がっている。地域においても組織拡大に問題意識を持つ。イスラエルのドローン兵器の輸入に抗議するハガキ行動を今後も進める。業績考課ランクに対する苦情処理会議が拒否された。団交開催を申し入れ、開催を迫及する。私たちの闘いで未来はつくられる」と訴えました。

JS労、年間休日120日勝ち取る!

JS労は3月6日、団交を開催し、年間休日数を120日を勝ち取りました。サービック会社の年間休日は、本社などの113日。この違いを会社は「分らない」と回答してきた。労働委員会を昨年12月に立ち上げた。3月6日の団交で『成案を提案する』と言っている。「プロパ一社員から『JS労ができてから待遇改善や職場環境が変化し、ありがたいため』と、お褒めの言葉を

取り組みを今年もやる」「休憩裁判は、安全に対する闘い。これから佳境・人証になる」などの発言が出されました。浦谷書記長は、総括答弁で「自分がどう生きるのか、教訓となる報告を受けた。困っている労働者のために何が出来るのか、所属先に関係なくいかに改善できるのかを考えよう。労働委員会には16件を申し立てた。地域でも職場でも旗を残すため、JR東海労の質を残すために闘っている。勇気と使命感を持って闘い、組織拡大に繋げよう。春闘では要求実現に向けて闘おう」と訴えました。



「本部定期中央委員会」で「JS労の姥直樹さんの報告があった。JS労の闘いに敬意を表し、連帯の闘いを進める。平和の取り組みとして、OBの伊藤さんから提起をされた『攻撃型ドローンをイスラエルから輸入する海外物産』への抗議ハガキ、あいち平和映画祭を最大限取り組む。2026春闘の柱として、本体及び社会福祉法人における賃金引き上げを闘う。私たちは、他の企業の仲間と今後も連帯して闘う。ダイヤ改正により315系4両ワンマン、駅の無人化(サポートサービスの無人直し)による大幅な効率化、社会福祉法人では



「私たちが、御用組合のサービック労組を脱退し、JS労の組合員であることを公表した姥さんの勇気と決意を歓迎する。これからもJS労、JE労、OB会の皆さんと固く連帯し、JR東海労連の運動の広がり組織拡大の実現のために共に闘う。衆議院選挙は、自民党が全体465議席の3分の2を上回る316議席を獲得した。このまま『早苗フィーバー』で流れて行けば、憲法改正への国民投票が現実のものとなる。平和の危機に直面している。憲法改悪反対、戦争反対について

に賃上げの団交を求めたが、『査定がある』として団交を先延ばししている。早期に団交開催を求める。JS労に引き続きJE労が結成され、運動が広がっている。地域においても組織拡大に問題意識を持つ。イスラエルのドローン兵器の輸入に抗議するハガキ行動を今後も進める。業績考課ランクに対する苦情処理会議が拒否された。団交開催を申し入れ、開催を迫及する。私たちの闘いで未来はつくられる」と訴えました。

JS労は2024年1月29日、基準労働時間7時間45分の社員の年間休日数を本社社員と同様の120日とすることを要求しました。その後、団交を開催するも問題解決には至らず、昨年12月24日、大阪府労働委員会へ救済申し立てし、今年2月26日、第1回調査が開催されました。要求実現は、

2年間計7回の申し入れと団交、労働委員会の闘いによるものです。要求実現に対して、組合員・社員の方から「どうしてもJS労の手柄にはしたくないという会社と御用組合の思いです」と御用組合の成果です。労働委員会の成果です。ね。労働委員会が動く。サービック労使が動く。会社は動く。それは、要求するにサービック労組は何もできないってことですね。いつも希望を現実に変えて貰いありがとうございます。どうぞよろしくお願いします。メッセーが届きました。